

親が学び、親が成長するために
おやがく
親学講座開講！



5月21日に中央公民館で、「親学講座」の開講式が開催されました。「親学講座」は、成長期の子どもを持つ親やこれから親になる方を対象に、「親とは何か、親に求められることは何か」など、親が自ら学び、親自身が成長することを目的に、開催されるものです。講座は、12月までに毎回、著名な講師を招いて、講演会が5回、学習会が2回開催されます。

開講式に続き行われた講演会では、紺野美紗子さんを講師に招き、「国連開発計画（UNDP）親善大使が見た世界の子どもたち」と題し、世界中の国々を訪問した貴重な体験を話していただきました。

また、活発な質疑も交わされ、講演終了時には、集まった大勢の皆さんから、大きな拍手が送られていました。

ふるさと健康体操で
運動不足を解消！

5月15日に保健福祉総合センターで、「ふるさと健康体操講習会」が開催されました。

吉幾三さんの曲「ふるさとはこの町」にあわせて行う、ふるさと健康体操は、普段使っていない筋肉を動かし、身体のコンディションを整えることを目的としています。また、体を動かすことで、心のリフレッシュにもつながります。

保健福祉総合センターでは、毎週金曜日に「ふるさと健康体操教室」を開催しています。皆さんも日常生活に運動を取り入れるきっかけづくりとして、一度参加してみたいはいかがでしょうか。



山口久志さん
瑞宝単光章受章！

山口久志さん（上の原）が瑞宝単光章を受章されました。

山口さんは、昭和42年8月、陸上自衛隊に入隊以来、約35年の長きにわたり、大分、福岡、神奈川、埼玉など、各地に勤務されました。

この間、教育大隊、施設大隊、京浜港湾処理隊、中央輸送業務隊、輸送学校研究部、輸送学校総務課等に所属。自衛隊唯一の国内外輸送業務を行う中央輸送業務隊では、自衛隊装備品等の輸送に関する通関処理業務を担当されるなど、平成14年に3等陸尉として退官されるまで、豊富な経験と卓越した識見をもって職務を遂行されました。



伊藤袈裟人さん
瑞宝双光章受章！

伊藤袈裟人さん（三ヶ山）が瑞宝双光章を受章されました。

伊藤さんは、昭和30年9月、警視庁巡査に任命されて以来、約40年の長きにわたり、警察行政の発展に貢献されました。

この間、交通指導や銃器・薬物・風俗違反等の取締りなどの業務に尽力されたほか、運転免許本部においては、運転免許行政の運営管理の改善に努められ、平成7年3月に警視庁警視を最後に退官されました。

また、平成19年には、地域でのゴミの分別活動により、シラコバト賞を受賞されています。



桜と花大根が咲き誇る
鉢形城公園でボランティア作業

寄居北條まつりを翌日に控えた4月11日、好天に恵まれた中、国指定史跡「鉢形城跡」の大手と伝逸見曲輪では、寄居町シルバー人材センターに登録されている会員の皆さんが、まつりに訪れる方々のためにボランティア活動として、硬い地面に生え始めた雑草の除去を行いました。

強い日差しの中、ソメイヨシノと花大根が咲き誇り、これから訪れる方々を歓迎しているようでした。



寄居地方武道大会開催
600人の選手が熱戦を繰り広げました！

5月5日に総合体育館・アタゴ記念館で寄居地方武道振興会主催の寄居地方武道大会（剣道の部）が開催されました。

55回目を迎えた今年の大会では、これまで長きにわたりこの大会を支えていただいた方々に感謝状を贈呈するとともに、昨年全国大会に出場した選手の特別表彰を行いました。

大会には、小学生から一般の方まで600人を越える選手が集まり、日ごろの稽古の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。

大会を終えて副会長の柴崎正さんは、「この大会の長い歴史と伝統の重みを感じるとともに、成長している若い選手の活躍を見ることができ、とても素晴らしい一日でした」と話してくれました。



消防団第5分団詰所
引渡式が盛大に行われました！

寄居町消防団第5分団（男衾）の詰所が赤浜地内（ふかや農協男衾農産物直売所の北）に完成したことにとともに、5月10日に引渡式が行われ、大勢の来賓が見守る中、町長から寄居町消防団へ詰所が引き渡されました。逸見和美消防団長は、「立派な詰所を造っていただき、ありがとうございます。これからは、この詰所を活動の拠点として、日ごろの訓練の成果を十分に発揮し、寄居町の火災をはじめとする災害活動等に全力をあげてあたっていきます」と意気込みを語ってくれました。



完成した詰所と消防ポンプ自動車



消防団正副団長と第5分団員の皆さん



引渡しを受ける逸見団長